



鼎談

市民がつくる多久の未来

多久市を盛り上げるために活躍されている3人に、故郷・多久市への
想いや未来への提言を語り合っていました。

地域に根ざした市民活動

南里 私は多久の一番の魅力は人の良さだと思っています。多久聖廟のお火たきは30年以上、イルミネーションは始めて15年ほどになりますが、地域をはじめ多くの人に協力していただいています。そのためにはまずは自分の思いをしっかりと伝え、若い人を巻き込むようにしています。

牛丸 イルミネーションきれいですよね。ブルーの五角形の「合格門」は留学生も喜んで動画を撮っていますよ。野中くんも市民活動に参加していますよね。そして、その活動でもつづっている東鶴のお酒は昔からよく飲んでありますし、多久酒も毎年楽しみにしています。

野中 ありがとうございます。山に囲まれている多久は

良質な水に恵まれ、米も酒造りに適しています。多久未来プロジェクトで始めた「純米大吟醸 多久」は米作りから仕込み、ラベル貼りまでメンバーで行い、多久の特産品として喜んでいただいています。コロナ禍では飲食店応援のために独自に商品券を販売しました。最近では義務教育学校の卒業式や入学式に合わせて写真パネルを寄贈するなど、地域のために活動しています。

南里 素晴らしいですね。多久酒をお土産に持って行くと、おいしいと喜ばれます。牛丸先生はアートで地域に貢献されているんですね？

牛丸 教員時代、生徒たちに「町のために何かしよう！」と言うからには「私も」と思い、消防団に入ったり、

CROSS TALK

中国獅子舞の第一号として10年くらい踊ったりしていました。創作活動にも励んでいましたが、それが市民のためになっているのか疑問を抱えていたときに臨床美術に出会い、今はアートを通して高齢者や子どもたちと交流を深めています。制作を楽しみながら「共感」し合う時間は気持ちがほっこりします。さらに多久市には技能実習生などの外国人が多く住んでいるので、日本人親子とのアートを通じたふれあいなども行いました。老若男女がアートを通してつながり合える居場所を増やしていきたいです。

多久の将来への想い

牛丸 もっとみなさんの活動をPRするためにも、観光客が多い多久聖廟周辺に市民の作品や特産品を並べる場所があるとにぎわいが増すと思います。それには、茂文公たち先人に思いを馳せ、50年、100年先を考えることが必要だと思うのです。今あるものと昔から引き継いでいるものの良さを確認して、それを生かし、つなげていくという発想。何より、多久市民として市を良くしていくという意識が必要ではないでしょうか。

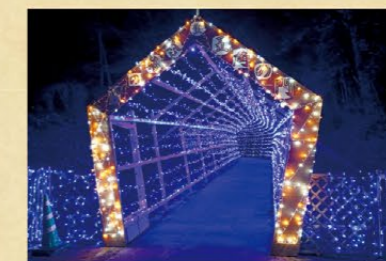


野中 そうですね。多久をなんとかしたいという思いは、僕も含めてみんな持っています。地理的な利便性もありますし、歩いて回れるような観光ができるといいですよ。長期的なブランディングをしっかりと持てば、多久はまだまだ伸び代があると感じています。

南里 みんなの後についていくのではなくて、一人一人が「自分が町をつくっている」という気持ちになれば強くなれると思います。みんなで気持ちを一つにして、いろいろな活動を盛り上げ合い、魅力発信にも力を入れていきたいですね。

なんり
南里 カチ子 さん 多久町

多久町東の原区長を務めるとともに、平成16年からは多久聖廟周辺の清掃を行う「多久美化クラブ会長」や音楽イベント「もりあがらナイト」などさまざまな企画を主催し、にぎわいを創出。



合格祈願に訪れる人も多い
多久聖廟にちなんで作られた
五角形のイルミネーション

楽しいアート体験は
脳を活性化させ、認知症予防
やストレス緩和なども
期待できるそう！



うしまる かずと
牛丸 和人 さん 多久町

美術教師となり、佐賀県立牛津高等学校の校長などを経て、現在は西九州大学短期大学部 幼児保育学科の教授として教鞭を執る。画家でもあり、アートで認知症改善などを促す臨床美術の活動を行う。



のなか やすなり
野中 保育 さん 東多久町

平成20年から実家の蔵（東鶴酒造株式会社）を継いで酒造りに励む。代表取締役社長であり杜氏。多久の未来のために活動する地域支援団体多久未来プロジェクトで作ったオール多久の「純米大吟醸 多久」は毎年好評。



お米の旨味が感じられる
フルーティーで甘口の大吟醸。
女性からの人気も高い！